



## 三井住友海上火災保険株式会社 駿河台緑地

◇東京都千代田区神田駿河台3-9、3-11-1



Superlative Stage

2017年に「緑の殿堂」と認定

### 都心で生物多様性に配慮した緑化 「鳥の駅」として機能する緑の拠点

駿河台ビルの屋上庭園は、土壌の深さが1メートルを超え、屋上の植栽としては珍しい高・中・低木のある風景が広がります。野鳥の飛来を目的とした樹種の選定やバードバスの設置、化学肥料や農薬に頼らない管理など、生物多様性に配慮した緑地には皇居や上野公園など大きな緑地に営巣する野鳥が訪れ、野鳥が行き来する「鳥の駅」として機能しています。また、駿河台ビルには都心ではとても珍しいヒメアマツバメが営巣し、一年中その姿を観察することができます。2023年には環境省の「自然共生サイト」の認定緑地となりました。

新館隣のECOM駿河台では、自然や環境に関する情報を発信するなど、地域の交流拠点としての役割を担っています。

- ◆竣工  
1984年
- ◆敷地面積  
17,387m<sup>2</sup>
- ◆緑地面積  
7,090m<sup>2</sup>



- ①駿河台ビルに営巣し、上空を旋回するヒメアマツバメ
- ②屋上菜園でお芋ほりをする保育園児

